

※本科目は履修選抜があります。
履修登録に加え、以下のURLより履修選抜確認アンケートへの回答が必要です。

【履修選抜要件】

- 1, 事前学習科目「幸せ視点のイノベーション1」の単位を習得していること
- 2, 履修登録時にPSFに達していること
- 3, 来年3月までにPMFまで持っていきたいと強く願っていること
- 4, 以下のいずれかの方法でプレゼンテーションもしくは事前相談を行っている
 - ・「幸せ視点のイノベーション1」の最終成果発表会で発表した
 - ・「幸せ視点のイノベーション1」の最終成果発表会で発表はできなかったが、動画でプレゼンテーションを提出している
 - ・やむを得ない事情でプレゼンを行えていないが事前ににとんとんに相談し、了承を得ている
 - ・2024年度以前に「幸せ視点のイノベーション1」を履修している場合は、個別にとんとんと面談し、PSFの達成が確認できていること

▼履修申込書

<https://www.bbt757.com/svlEnquete/jsp/user/top?id=65aed631a338a9b24f457b4182d8b0ea>

※開講は第1タームからになりますが、履修要件を満たさない場合は、履修登録を取り消されることを理解した上で、履修登録をしてください。

前期の科目終了時アンケート結果は[コチラ](#)から参照ください

科目コード 13152

授業科目名	担当教員名	履修区分	配当年次	開講期	単位	DP対応
幸せ視点のイノベーション2	斉藤 徹	G:選必 D:選必	1	秋	3	1,3,4,5
科目概要						
前期「幸せ視点のイノベーション」の続編講義。 PSF(課題解決フィット)をクリアした事業アイデアをもとに、MVP(最小機能製品)を開発して、PMF(製品市場フィット)の実現を目指す、きわめて実践的なイノベーション講座。						

	必須	推奨
事前学習科目	幸せ視点のイノベーション1	-
事後学習科目	-	-

学びの目的とゴール
「幸せ視点のイノベーション1」との組み合わせで「自分自身が熱中できて、かつ人を幸せにする製品やサービスを企画し、事業として成功裏に立ち上げる」ことをゴールとする。そのプロセスにおいて、最新のイノベーション・メソッドを習得し、今後の人生に役立てることも講義の目的としている。

評価の観点	評価割合	評価の方法
平常点	10%	受講認証を参考に、総合的に評価する。
発言点	40%	各講義への書き込み状況、ディスカッション、課題の提出状況、およびその内容を評価する。
課題の評価	50%	最終提出物および最終プレゼンテーションで評価する。 ※最終プレゼンテーションは参加必須。 やむを得ない場合は録画で参加もしくは個別に日程を設ける

担当教員からのフィードバック方法

- ・ディスカッション
- ・オンラインミーティングでのフィードバック

教科書	オリジナル講義スライド
参考図書	筆者サイト (Join the dots) 内の「みんなの図書館」にて紹介している。 https://www.join-the-dots.net/

教員紹介

齊藤 徹

ビジネス・ブレークスルー大学 経営学部 教授
株式会社ループス・コミュニケーションズ 代表取締役

1991年、日本IBMを退職、ICT技術を活かしてベンチャーを創業。
携帯テクノロジーが注目され、未上場で時価総額 100億円超。
バブル崩壊で創業者追放の憂き目にあい、3億円の借金を背負う。
裁判敗訴、競売、事業売却と、厳しい起業の荒波に揉まれる中で経営学を学び、現場で実践し、新しい視点で体系化し続ける。その後、組織論と起業論を専門として 学習院大学 客員教授に就任。
幸せ視点の経営講義が Z世代に響き、立ち見のでる熱中教室に。
精神年齢が学生に近く、学生から「とんとん」と呼ばれはじめる。
2018年には、社会人向け講座「hintゼミ」を開講。
卒業生は 500名を超え、三ヶ月毎に約70名の仲間が増えている。

『業界破壊企業』(光文社)、『再起動』(ダイヤモンド社)『ソーシャルシフト』(日本経済新聞出版社)、
『だから僕たちは、組織を変えていける』(クロスメディア・パブリッシング) など、著書多数。

HP ~ Join the dots: <https://www.join-the-dots.net/>

回数	学習内容	学習課題
1	MVPを制作する	個々のプロジェクトに最適なMVP(最小機能製品)を開発し、ユーザーが機能を体験できるようにする
2	MVPディスカッション①	MVPに関するディスカッションやQ&Aを行う

3	MVPディスカッション②	MVPに関するディスカッションやQ&Aを行う
4	MVPディスカッション③	MVPに関するディスカッションやQ&Aを行う
5	MVPディスカッション④	MVPに関するディスカッションやQ&Aを行う
6	PMF(定性的な検証)にチャレンジする	開発したMVPをベースに、サービス提供、フィードバック、製品改善(ないしピボット)を繰り返す。ショー・エリスのテストをクリアするとゴールとなる。
7	PMF(定性検証) ディスカッション①	PMF(定性) に関するディスカッションやQ&Aを行う
8	PMF(定性検証)ディスカッション②	PMF(定性)に関するディスカッションやQ&Aを行う
9	PMF(定性検証)ディスカッション③	PMF(定性)に関するディスカッションやQ&Aを行う
10	PMF(定性検証)ディスカッション④	PMF(定性)に関するディスカッションやQ&Aを行う
11	PMF(定量的な検証)にチャレンジする	開発したMVPのマーケティング計画を考え、それに基づいて顧客層を広げ、製品改善(ないしピボット)を繰り返す。成長エンジンを見極め、無理なく自然に成長していくシナリオを完成させることがゴールとなる。
12	PMF(定量検証)ディスカッション①	PMF(定量)に関するディスカッションやQ&Aを行う
13	PMF(定量検証)ディスカッション②	PMF(定量)に関するディスカッションやQ&Aを行う
14	PMF(定量検証)ディスカッション③	PMF(定量)に関するディスカッションやQ&Aを行う
15	PMF(定量検証)ディスカッション④	PMF(定量)に関するディスカッションやQ&Aを行う
16	プレゼンテーション	プレゼンテーション準備 プレゼンテーション

※開講や課題出題のスケジュールは、別途配布している配信スケジュールを確認してください。

受講上の注意

※**本科目は履修選抜があります。**

(以下の1~3のすべてをクリアしていることが履修要件となります)

【履修選抜要件】

- 1, 事前学習科目「幸せ視点のイノベーション1」の単位を習得していること
- 2, 履修登録時にPSFに達していること
- 3, 来年3月までにPMFまで持っていきたいと強く願っていること
- 4, 以下のいずれかの方法でプレゼンテーションもしくは事前相談を行っている
 - ・「幸せ視点のイノベーション1」の最終成果発表会で発表した
 - ・「幸せ視点のイノベーション1」の最終成果発表会で発表はできなかったが、動画でプレゼンテーションを提出している
 - ・やむを得ない事情でプレゼン行えていないが事前ににとんとんに相談し、了承を得ている

・2022年度以前に「幸せ視点のイノベーション1」を履修している場合は、個別にとんとんと
面談し、PSFの達成が確認できていること
※単位認定には、顔認証による本人確認が必要です。